

2007春闘

全国一般第4次集計

全国一般回答は昨年実績を上回る水準を確保
4月決着に向け連続団交と統一行動で解決促進をはかろう！

相場波及をめざし中小共闘センター・妥結ミニマム基準を確認

昨年妥結実績に300円以上を上積みし
賃金引き上げ4,800円以上の獲得を！

妥結平均（単純集計） 4,900円 昨年実績を524円上回る
回答平均（単純集計） 4,858円 昨年実績を347円のプラス
連合集計（平均賃上げ、2366組合の回答妥結集計）
5,847円 昨年実績を304円のプラス
中小共闘センター（規模300人未満、1077組合）
妥結平均（単純集計）4,679円 昨年実績を281円上回る

【全国一般の現況】

4月12日現在、全国一般集計では回答を引き出した82分会の単純平均は4,858円、1.89%（昨年対比プラス347円）、加重平均で4,873円、1.94%（対前年比プラス366円）の回答を引き出した。そのうち、妥結した42分会の単純平均は4,900円、1.97%（対前年比プラス524円）、加重平均で5,312円、2.08%（対前年比プラス194円）と昨年実績を上回った。

先行した分会では妥結・回答とも昨年実績に上積みをはかっているが、多くの職場では精力的な交渉にも係わらず、経営側の低額回答・ゼロ回答との闘いになっている。また回答でも基本賃金の引き上げでなく諸手当による回答や業績反映は一時金とする経営側の対応も強まっている。経営側の賃金抑制に対し、組合員の生活向上・格差是正をはかるために、地本段階の統一行動の配置・相互支援を一層強化していくことが重要である。低額・ゼロ回答を打ち破るため、連続団交と抗議集会、時間外拒否など大衆行動と相互支援で追い上げ、4月末決着をめざそう。

【連合段階の07春闘状況】

4月12日現在、連合の第3回回答・妥結集計（2,366組合の平均賃上げ方式）の加重平均は5,847円、1.93%（対前年比プラス304円）、中小共闘が集計した妥結平均（規模300人未満の1,077組合）は単純平均4,679円（1.85%）、加重平均4,846円（1.9%）。対前年比281円（単純平均）、254円（加重平均）上回っている。